

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月29日

【評価実施概要】

事業所番号	4270102504		
法人名	有限会社 サナス		
事業所名	グループホーム 出島		
所在地	〒850-0842 長崎市新地町4-15 大久保ビル5階 (電話)095-820-3788		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年12月24日	評価確定日	平成21年2月20日

【情報提供票より】(平成20年11月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 3月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 常勤 7人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	6 階建ての	階 ~	5 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 ~ 45,000 円	その他の経費(月額)	24,000 円	
敷金	有() 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	0 円
	または1日当たり		1,200 円	

(4) 利用者の概要(11月10日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	0 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87 歳	最低	78 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 博生会 大久保医院・三浦歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

長崎市の中心部、商業地域の中に立地するビルの5階にある。交通の利便が良く、それぞれの家族が頻繁に訪問されている。家族会もあり、家族との交流も厚く、ホーム行事では家族が自発的に料理を持ち寄ったりと、家族の人情の温かさが感じられる。また、医療連携機関の併設ということもあり、家族のみならず職員にとっても安心につながる支援が提供できている。さらに、介護計画にも力を注がれ、介護計画書は多岐にわたって充実しており、入居者の日々の暮らしに反映されるよう努力されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題は、「地域とのつきあい」と「市町村との連携」である。今年5月に管理者が交代され、前回評価の引き継ぎが十分に行われていたとは言い難い。商業地域の中に立地するホームであるが故の苦労はあるものの、自治会々長との交流や地域行事への参加、またホーム内に留まらず併設施設を訪れた人々との触れ合いを大切に、独自の地域との交流を心がけている。さらに管理者は、来年に向けての改善計画シートを作成し、検討を始めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は5月に赴任されており、前回の自己評価を参考に、現場職員の意見も取り入れながらまとめ、自己評価票を作成している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>入居者、家族、地域住民、有識者、地域包括支援センター職員が主な参加メンバーで、信頼関係ができてきている。会議では、ホームの活動実績に加え入居者の受診等外出支援についてや事故報告、職員の研修状況、防災訓練、家族会の話し合いなどの報告と多彩である。意見や要望も多く出され、サービス向上に活かしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の訪問が頻回にあり、月に1度はどの家族も訪問があるので、家族と面談できる機会が十分に持っている。年に4回、ホーム行事開催に合わせ家族会の時間を設け、家族だけで話し合いをされている。家族会でも、また家族がそれぞれに訪問された際にも、率直な意見が聞かれ、それらを真摯に受け止め、反映させるよう努力している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>学生のボランティアや中学生の福祉体験学習等を受け入れている。地域行事へも見学に行き、反対にホーム行事に地域の方にも参加してもらおうなど、地域交流に努めている。</p>

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『家庭的な環境の下で、安心とやすらぎと尊厳のある自立した質の高い日常生活を営むことが出来るように支援いたします。』を理念として掲げ、中でも特に入居者の尊厳を尊重した支援を心がけている。		グループホームの基本方針が制度改正により「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」に改められ、これまでの理念に加えて、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容となっていることが求められている。このことを踏まえ、理念を再考したいと表明されており、その努力の成果に期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内の随所に理念を掲げ、一昨年より[安心・やすらぎ・尊厳]とわかりやすい言葉にし、日々理念に立ち返り、理念の実践に向け努力している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	学生のボランティアや中学生の福祉体験学習等を受け入れている。地域行事へも見学に行き、反対にホーム行事に地域の方にも参加してもらうなど、地域交流に努めている。		運営推進会議で車椅子の使用を体験したいとの要望が挙がっており、実施に向けて検討を始められている。これに加えて、高齢者の疑似体験や認知症について知ってもらう活動等を通して、地域に貢献されることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は5月に赴任されており、前回の自己評価を参考に、現場職員の意見も取り入れながらまとめ、自己評価票を作成している。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者、家族、地域住民、有識者、地域包括支援センター職員が主な参加メンバーで、信頼関係ができています。会議では、ホームの活動実績に加え入居者の受診等外出支援についてや事故報告、職員の研修状況、防災訓練、家族会の話し合いなどの報告と多彩である。意見や要望も多く出され、サービス向上に活かしている。		

グループホーム 出島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の研修会への参加や、申請手続き等で市の窓口を訪ねたり、制度関連について電話で尋ねたりしている。		申請手続き等で市の窓口を訪ねる際、入居者と共に足を運び、また相談するなど市の職員との交流を通じて、将来的に協働関係を築いていかれることを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問が頻回にあり、随時口頭で報告している。月に1度はどの家族も訪問があるので、面談での報告の機会が十分に持っている。また、緊急の際は時間を置くことなく報告し、電話や文書など必要に応じた手段で報告が行われている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に4回、ホーム行事開催に合わせ家族会の時間を設け、家族だけで話し合いをされている。家族会でも、また家族がそれぞれに訪問された際にも、率直な意見が聞かれ、それらを真摯に受け止め、反映させるよう努力している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	今年の5月に管理者が交代されている。入居者へのダメージを防ぐため、引き継ぎを十分に行っている。管理者は前任者の足跡を辿られ、支援の質を落とさないよう日々努力されている。その背景には、チーム力の強さや前任者の功績があるように感じられた。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	併設事業所と合同での勉強会や、外部研修への参加を促している。受講の際はレポートを提出し職員間で回覧し、情報を共有している。資格取得についても、勤務体制への考慮等、ホームをあげて協力している。また、管理者をはじめ、技術の高い職員が実践の中で指導に当たり、質の向上に取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入し、管理者は同業者との交流を図っている。協議会主催の研修会には職員と共に参加している。		同業者との交流を図る上で、管理者のみに留まらず、職員と共に取組まれることを期待したい。また、前回評価で、同業者間での相互見学を予定されていたが、実践がなされてなく、このことも併せた取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用前に状況把握を行い、納得した上でのサービス開始を心がけているが、やむを得ず、納得しないまま入居に到るケースもある。その際は、「私達がいるから大丈夫ですよ」と安心につなげる言葉かけを工夫し、ホームの生活に早く馴染んでもらえるよう敢えて家族の訪問を控えていただくなど家族と相談しながら対応している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員の疲れた表情に、入居者は「大丈夫ね?」とさりげなく声をかけてくれる。入居者からの労わりの言葉に、入居者に支えられていることを実感されている。24時間を通しての入居者との触れ合いの中で、いい人生経験をさせていただいていることに、職員は感謝されている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日頃から本人の希望や意向を聴き、表情からも見逃さないように配慮している。家族の意見からもヒントを得て、「評価表(1)」に記録し、介護計画に反映している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者担当制を採っている。まずは担当者が本人、家族の希望や意向をもとに原案を作成し、カンファレンスにて全職員で協議し、計画作成担当者と共に介護計画を作成している。カンファレンスには、かかりつけ医または医療連携機関の看護師も参加されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画に沿った支援が実施されているかどうか10日ごとに評価されており、3ヶ月に1回見直しを行っている。心身の状況に変化が生じたり、現状に即した計画になっていない場合は、随時、話し合いを行い介護計画を変更している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設事業所の行事に参加するなどの交流があり、通院介助で併設訪問介護員の支援を受けるなど自主サービスもある。協力医療機関に併設されていることや、同ビル内に理事長が居住されており緊急時に早急な協力が得られることで、安心につながる支援ができる。また、要望に沿って、入居者の自宅での法事に職員も付き添い支援するなど、柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際、本人、家族の了解のもと、医療連携機関にかかりつけ医を変更している。特定疾患があるなど本人の状況により継続受療も考慮されている。他科受診については、往診や家族対応としており、困難な場合は職員が家族に代わって対応する等柔軟な支援が行われている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期を迎える段階に応じて、かかりつけ医と共に家族と話し合い、その方針に家族の同意を得て、家族と共にターミナルケアに取り組まれている。今年に入り2度も的人生における貴重なターミナルケアを経験されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	理念の中にも【尊厳】を掲げ、入居者の尊厳に配慮した言葉遣いや対応を徹底している。記録等の個人情報の保管についても、十分に注意し取り扱っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	例えば、朝の起床時間は個々のペースに合わせ、朝食の時間もそれぞれ異なり、職員の都合や他者のペースを押し付けたりはしない。可能な限り、本人のペースを尊重した支援を行っている。		

グループホーム 出島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と一緒に近くの商店へ行き食材を選び、好みの料理を献立に採り入れ、下ごしらえや配膳では入居者のそれぞれの力を活かし協働している。曜日によって昼食は併設事業所による外注だが、夕食は職員も同じメニューで入居者と一緒に食卓を囲んでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に3回、曜日の設定はしているが、可能な範囲で本人の調子やペースに合わせ、希望や習慣を重視した個別支援を行っている。拒否がある場合は、職員が代わって声かけすることによりスムーズに入浴できている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	来訪者へのご挨拶、食事の配膳や後片付け、フロアのモップかけなど個々の得意分野で役割があり、張り合いを持って生活されている。また、習字や手芸、読書、買い物などそれぞれに楽しみごとを持たれている。今は時季的に、年賀状作りの要望があり、支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散策や買い物へ日常的に出かけている。また、月に1度はドライブに出かけるようにしており、個々の希望に沿った外出にも柔軟に対応している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠していない。安全対策のため、玄関の扉を開けるとチャイムが鳴る仕組みになっており、入居者の所在確認に随時気を配っている。外出傾向のある方については、その前兆行動を把握しており、一緒に付き添い外出している。また、同ビル内の他の職員に見守られた環境にあり、危険を回避することができている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	様々な火災発生時間や場所を想定し、具体的な避難誘導策を職員間で検討し、避難訓練を実施している。また、ホームの両隣にあるガソリンスタンドへ災害時の協力要請をしている。災害に備えた備品については、食料品を1週間分備蓄している。		

グループホーム 出島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに配慮し、献立は一汁三菜を基本とし、食事形態や好みについては、個別に対応している。水分確保についても配慮され、水分量が不足している方については介護計画に挙げ、個別に重点を置き支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には和風の敷物に生け花、陶器の額が飾られ、落ち着いた趣で出迎えられる。居間には大きなソファが置かれ、入居者は思い思いの場所で寛がれている。また、ビルの5階ということもあり、大きな窓から柔らかい光が入り、明るく開放感がある。ベランダには、可愛い花々が植えられ、心和ませてくれる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームからの提供はベッドと造り付けのクローゼットまたは押入れのみで、その他は本人と家族で決められた馴染みの物や愛用品が配置されていた。洋室と和室があり、居室の装飾品も様々で、入居者の個性を感じさせる居室となっている。		